

講義名	19～日本語B（聞く）/15～日本語B【留学生科目】					授業形態	
担当教員	上仲 淳	開講期・曜日・時限	後期 月曜日 2時限				
		単位数	2	履修開始年次	1年生	ナンバリング	

主題と概要
留学生が外国語としての日本語の聴解と発音について学ぶ。 さまざまなリスニング問題を通して間違いやすいポイントを整理し、聴解力の向上を目指す。 日本語の発音では、聞きやすく分かりやすい発音で話せるようになるための練習を行う。 授業は対面で行う。

到達目標
聴解練習では、一般的な話しことばや、ニュース、講義の内容が聞き取れるようになることを到達目標とする。 発音練習では、正確、且つなめらかな発音でコミュニケーションが行えるようになることを到達目標とする。 各到達目標については、中間試験、期末試験等において、その到達度を測る。 留学生が自ら考える学習を行うようになることを目指す。

提出課題
予習、復習、ワークシート等、授業中にその都度指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法
各学生に課したテストや課題について、一人一人にチェックおよびコメントを行い、また、全体としての講評・解説等も行ってフィードバックをする。

評価の基準
授業参加度（30％）、授業内発表（10％）、中間試験（30％）、期末試験（30％）による総合評価を行う。

履修にあたっての注意・助言他
出欠は毎回とする。 全授業回数の1/3以上欠席した場合は、試験を受けることができない。 遅刻3回で1回欠席とする。 15分以上の遅刻は欠席となる。 真面目かつ積極的な授業参加を望む。

教科書
.使用しない。

参考図書

その他
プリント資料を配布、もしくはウェブ資料を利用する。 参考文献 『日本語総まとめN1聴解』佐々木仁子・松本紀子著 アスク出版 『パターン別徹底ドリル日本語能力試験N2』西沢俊雄ほか著 アルク 『シャドーイングで日本語発音レッスン』戸田貴子編著 スリーエーネットワーク

授業計画
第1回：オリエンテーション 授業の進め方および注意事項、スケジュール、教材、評価方法等 第2回：発音に関する聞き取り、ディクテーション 第3回：文法に関する聞き取り、発音練習 第4回：会話表現の聞き取り、発音練習 第5回：指示や説明の聴解 第6回：カタカナ語の聴解 第7回：特別な表現の聴解 第8回：中間試験の実施およびその解説 第9回：聴解（課題理解） 第10回：聴解（ポイント理解） 第11回：聴解（概要理解） 第12回：聴解（語句応答） 第13回：聴解（総合理解） 第14回：グループ発表 第15回：総復習および期末試験の傾向と対策について

授業形態（アクティブ・ラーニング）		
☐	ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
☐	ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
☐	オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
各資料に関して、語句の読みや意味調べ、内容理解等の予習を、毎回2時間行ってください。 発音・聴解の復習および課題を、毎回2時間行ってください。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
日本語聴解能力を身につけ、活用することができます。 聴解能力をつけることにより、人と円滑なコミュニケーションをとることができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考